

S1C60/62 マニュアル 正誤表

| 項目 | | | |
|--|------------|--|----------|
| 対象マニュアル | 発行 No. | 項目 | ページ |
| S5U1C62000A Manual(S1C60/62 Family アセンブラパッケージ) | MF1120-03a | 目次、5.5.10 ロケーションカウンタシンボル"\$"、5.8 旧ツールとの互換性 | iv、60、83 |
| (誤) | | | |
| 5.5.10 ロケーションカウンタシンボル"\$" | | | 60 |
| (正) | | | |
| 削除 | | | |
| (誤) | | | |
| 5.5.10 ロケーションカウンタシンボル"\$" | | | |
| 各ステートメントのアセンブル時、各命令のアドレスは 13 ビットのロケーションカウンタにセットされます。このカウンタ値を、ラベルと同様にシンボル"\$"を使用して参照することができます。"\$"は現在の位置を示しますので、相対ジャンプに使用可能です。ラベルと同様に、演算子を組み合わせた式に"\$"を使用することもできます。 | | | |
| 例: jp \$... 現在のアドレスにジャンプ (永久ループ) | | | |
| jp \$+2 ... 2 命令後のアドレスにジャンプ | | | |
| jp \$-10 ... 10 命令前のアドレスにジャンプ | | | |
| jp \$+16+(16*(BLK>16)) ... 演算子と定義済みシンボルが使用可能 | | | |
| 注意事項 | | | |
| 他のセクション内のアドレスを"\$"を使用して相対的に参照する場合、参照先までの相対距離がソースの段階で確定している必要があります。リロケータブルセクションの場合、リンクが終了するまで絶対アドレスが確定しないため、目的のアドレスが参照できるとはかぎりません。 | | | |
| (正) | | | |
| 削除 | | | |
| (誤) | | | |
| 擬似命令 | | | |
| 旧形式 | 内容 | 新形式 | |
| \$ | ロケーションカウンタ | -> \$ | |
| (正) | | | |
| 擬似命令 | | | |
| 旧形式 | 内容 | 新形式 | |
| \$ | ロケーションカウンタ | -> なし | |